

西府の湧水と新田川緑道

豊かな緑が途切れなく続く散策路。

高倉塚古墳や武蔵府中熊野神社古墳など、府中市の史跡スポットも訪れます。

新田川緑道としょうぶ池

新田川緑道は、府中用水の流路の一つである新田川にフタをして、緑道として整備したものです。様々な樹木が植えられ、四季を通じて散歩を楽しむことができます。新田川の多くは現在地下水路となっていますが、分倍河原古戦場碑の先にある新田川分梅公園では、復元された流れを見ることができます。京王線をくぐり下河原通りを越えると、しょうぶ池があり、春先には周りの桜が咲き誇ります。かえて通りを北上して、ゴールの分倍河原駅へ。



しょうぶ池



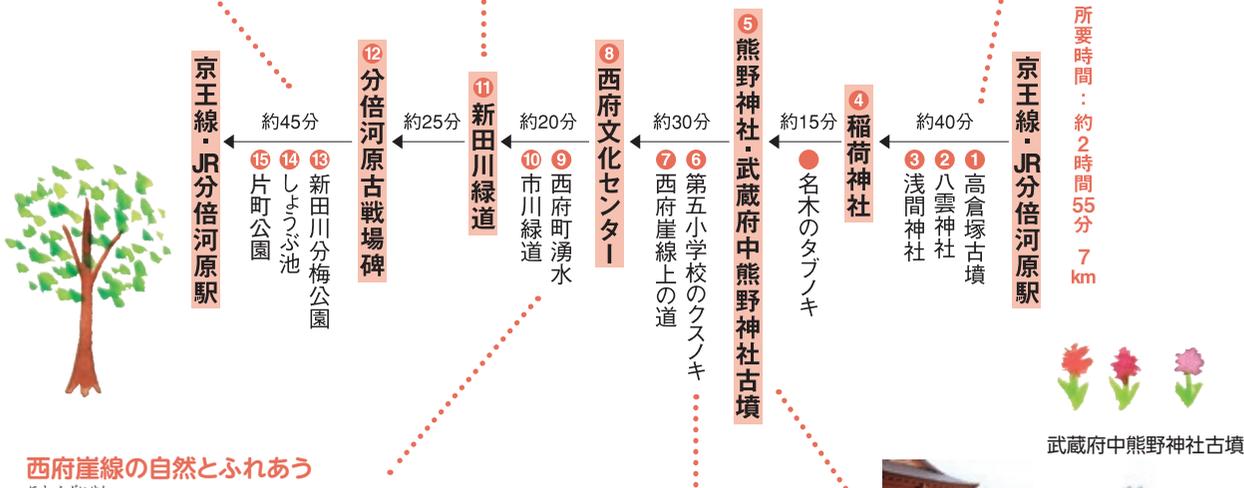
新田川緑道

高倉塚古墳



高倉塚古墳とイチオウの稲荷

分倍河原駅を出て京王線をくぐると、その先には高倉塚古墳があります。約30基ある高倉塚古墳群の代表的な古墳で、周辺からは貴重な出土品も数多く発見されています。JR南武線を越え八雲神社、浅間神社を経て稲荷神社へ。境内には名木百選のイチオウの大木がそびえています。



西府崖線の自然とふれあう

西府崖線とは、市内を東西に走る府中崖線の西側一部の通称です。崖線上から市川緑道へと階段を下りきる手前の右側に西府町湧水があり、東京の名湧水57選に選定されています。また、西府崖線の自然林と湧水は、府中30景の一つです。市川緑道を流れる水路は、江戸時代初期に多摩川の古い流路を利用して開削された府中用水の一部で、国立市青柳にある取水門(明治33年頃設置)から多摩川の水を引き、湧水や地下水を取り込みながらいくつもの分流となって農地を潤した後、是政で再び多摩川に合流しています。市川は府中用水の古くからの呼び名です。野鳥の声を聞きながら、新田川緑道へ。



市川緑道



西府町湧水

名木のクスノキ

甲州街道を渡り、古墳ゆかりの絵が描かれた数名の細道を西府駅方面へ。JR南武線の地下通路を過ぎると、市立府中第五小学校。明治6年創立の「育幼学舎」を始まりとし、名木百選のクスノキは大正元年に植えられました。ここから崖線上の道を歩いていくと西府文化センターがあります。

武蔵府中熊野神社古墳



熊野神社の超一級遺産

西府駅入口交差点を渡ると、本宿南裏通り沿いに名木百選のタブノキが見えます。クスノキの仲間の常緑高木で、内陸部では珍しいものです。新府中街道を上り、常夜灯を見て本宿北裏通りに入って熊野神社へ。本殿裏には、平成17年7月に国の史跡に指定された「武蔵府中熊野神社古墳」があり、7世紀中頃に築造されたと見られる上円下方墳の復元を見ることができます。発見例が極めて少ない珍しい形の古墳で、石がふかされた上円下方墳の中では最古のものです。古墳展示館(無料)も見学してみましょう。

武蔵府中熊野神社古墳キャラクター くまじい&おくまちゃん

